

地域資源を活用した環境にやさしい循環型鉢物栽培の確立

○実施期間：令和4年～6年度

○担当部署：花き部

○区分：地域密着型研究

○研究内容

鉢物栽培では、安価で軽量のピートモスの普及と省力的なかん水技術の開発によって、高品質かつ安定生産が確立されており、さらに肥効調節型のコーティング肥料の省力性から、その利用が多く品の品目で一般化しています。

しかし、ピートモスは、近年良質なものを取得しにくく、新型コロナによる物流の停滞も相まって、価格の高騰や計画的な導入が困難になっています。

また、プラスチックコーティング肥料は流出による海洋汚染が問題視されており、使用を全面的に見直す動きもあります。

そこで、地域で生産している堆肥や土壌改良材の炭等を活用したピート削減培土の利用技術を開発すると共に、非プラスチック化を可能とする施肥管理技術の開発を目指します。

